《元気が出る桜小学校》

学力を伸ばす学校・安心安全な学校・潤いのある学校





1年 36名 2年 47名 3年 39名 4年 47名 5年 39名 6年 41名 特別支援学級 3名

三郷市彦成4-5-16 12957-5033

URL http://www.edu.city.misato.lg,jp/sakurasho/ MAIL sakurasho@edu.city.misato.saitama.jp

児童数計 252名

人とのつながり

新緑の5月となりました。まるで子どもたちが手のひらを広げるように、若葉の明るい緑色 と青い空のコントラストが、みずみずしい新生の息吹を感じさせてくれます。

桜小学校も、令和4年度がスタートして1か月が経ちました。子どもたちの元気な声が校舎 に響き、伸びようとする桜の新緑と、一緒に呼吸しているようです。

先日、ある人とお会いした際に「コミュニケーションカ」が話題になりました。「世間には いろいろな立場の方がいるけれど、気持ちよくコミュニケーションをとっていけるといいね。」 という、何気ない会話でしたが、私は、大切なことを思い出させてくれた気がしました。

私自身は、双子の娘の親でもありますが、同時に生まれ同じ環境 で育った双子でも、個性は全く違います。学校に勤め、今までたく さんのお子さんと出会ってきましたが、一人として同じ人はいませ んでした。それどころか、どのお子さんも個性にあふれ、さまざま に可能性を秘めていることを教えてくれました。



どんどん国際化が進む社会の中では、さまざまな違いを柔軟に受

け入れながらも、共通点をみつけ、人と人との心のつながりをつくっていく力が、今こそ強 く求められていると思います。

「『ことば』というものは、心の思いを声に響かせていうものだ。」という言葉があります。 思考・判断・表現とかICTリテラシーとか、教育の世界でも求められる観点はいくつもあり、 どれも必要不可欠なものですが、すべての根底には、人と人との心が通うコミュニケーション があってほしい、と私は切実に願っています。

本校の4月の生活目標は「あいさつは自分から先にします」でした。子どもたちは、元気な 声で進んであいさつし、毎日の学校生活を活気あふれるものにしてくれています。自分からあ



いさつをし言葉をかけることは、心の窓をひらいて人とつなが ろうとする、その第一歩です。本校では「あいさつ」を年間を とおして推進していきます。

お互いの生活を楽しく潤いあるものにしていけるといいな、 そんな願いを込めながら、今日もあいさつの声をかけていきた いと思いますが、いかがでしょうか。

(校長 古橋立哉)



一 行事予定

В	曜日	主 な 行 事
1	В	
2	月	ぐんぐんタイム
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
6	金	ぐんぐんタイム 桜家族読書
7	土	
8	B	
9	月	4・5年 田植え体験(1~4校時)
10	火	
11	水	4~6年 県学力・学習状況調査(国・算) 委員会活動
12	木	全校朝会
13	金	眼科検診(1・3年・3組)
14	土	市P連新旧理事会
15	В	
16	月	尿検査1次① 内科検診(5・6年)
17	火	尿検査1次② 歯科健診(5・6年) 教育相談日
18	水	ハッスルタイム クラブ
19	木	プール清掃 内科検診(3組・3~4年) 資源回収
20	金	ぐんぐんタイム 桜家族読書
21	土	
22	В	
23	月	尿検査2次① ぐんぐんタイム
24	火	尿検査2次② 音楽朝会
25	水	ハッスルタイム クラブ
26	木	ぐんぐんタイム 内科検診(1・2年)
27	金	1~5年 5時間授業、6年 6時間授業 交通安全教室(1~3年)
28	土	春季運動会(午前中)
29	В	運動会予備日 英語検定(彦成中)
30	月	振替休業日
31	火	体力テスト(5/8まで)

今月の生活目標

廊下・階段は静かに右側を歩きます

5月の集金日

○○日(○) ①スポーツ振興センター掛金

(460円) 〇〇日(〇) ②給食費·児童会費

(4,000円)

集金が続き、申し訳ございません。おつりの ないようにご準備いただけると助かります。 よろしくお願いします。

メール配信登録の御礼

メール配信システムへの登録にご協力いただ きありがとうございました。

今後、さまざまな緊急連絡事項を、メール配 信する可能性がございます。まだ登録いただい ていないご家庭は、登録をお願いします。

なお、4月15日、28日にテストメールを配 信しました。受信できなかった場合には担任ま でご連絡ください。また、メール登録ができな い(携帯電話を持っていないなど)場合も担任 までご連絡をお願いいたします。

田植え体験に挑戦

3年ぶりに「田植え体験」が復活することに なりました。 采女にお住まいの〇〇〇〇様、〇 ○○○様、PTA 会長の○○様、おやじの会の ○○様、PTA 役員の皆様にお世話になり、連 休明けに4年生・5年生が体験します。

...........

米作りの仕事を学びながら、

身近な地域の方々とも ふれあえる貴重な 体験です。秋には 稲刈り体験も計画 します。



エコキャップ。運動 に取り組みます ◆キャップ430個で10円分のポリオワクチン代になります。ワクチン1人分は

ペットボトルのキャップ回収にご協力く ださり、ありがとうございます。 桜小では、体育館通路の入口と不二家側の昇降口にキ ャップの回収ボックスを置いています。

- 20円、860個のキャップで1人の命が救えます。
- ◆キャップをごみとして燃やすと、430個のキャップが3,150グラムのCO2 を発生させます。(ごみの分別はCO2削減につながります)
- ◆そのほかプラスチックの再資源としてボールペンや土木資材、回収ボックスなどに 変えられます。 (回収業者のHPより抜粋)